

健康診断における新型コロナウイルス感染症対策について（施設健診）

新型コロナウイルス感染症に対して、弊会では健康診断を安全に実施する為に感染予防対策を下記の通り実施します。またその中には事業所様又は受診者様にもご協力をお願いさせて頂く内容もございます。何卒、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

※原則としてマスク着用のご協力をお願いします。

● 以下の1～4に当てはまる方はPCR検査等(抗原・抗体検査含む)が陰性であっても健診の見合わせと受診の延期をお願いします。

1. 受診当日及び7日以内に、発熱（平熱より高い体温或いは37.5℃以上）・強い倦怠感・息苦しさ・風邪の症状(咳・喉の痛み等)・下痢・味覚異常・嗅覚異常のある方
2. 海外渡航歴があり厚生労働省が示す待機期間内の方
3. コロナ感染者(疑い含む)の濃厚接触者で待機期間内の方(待機期間内の翌日から受診可能)
4. コロナ感染治癒確認(制限解除)をされていない方(制限解除の翌日から受診可能)

※受診当日には会場入り口または受付にて体温測定を致します。また、問診の内容（体調・現病歴等）によっては当日の健診や検査の中止をお願いする場合がありますのでご了承ください。

※新型コロナワクチンを接種した方は接種後3日以上経過してからの受診を推奨します。

※健診は新型コロナワクチンの接種と別日での受診を推奨します。

● 胃管内視鏡検査（胃カメラ）における感染予防について

- ・胃カメラ検査ではマスクを外した状態で咽頭麻酔やスコープ挿入を行うため、咳やくしゃみを誘発した場合、飛沫感染のリスクが生じます。それに対し、換気の強化・空気清浄機の設置・検査室の消毒の徹底・医師及びスタッフの防護具の着用等を行います。それでも感染を完全に予防することはできません。
- ・現在、他の感染症による急性疾患や気管支喘息等の肺疾患で治療中の方は、新型コロナウイルスに感染した場合に重症化する可能性がありますので、胃カメラ検査の中止をお勧めします。
- ・胃X線（バリウム）検査への変更をご希望の際はお申し出ください。

● 健診を受診される方へのお願い

- ・健診会場では咳エチケットのご協力と不要な会話等はないようにご配慮ください。
- ・健診前と健診後に手指のアルコール消毒または石鹸による手洗いをしてください。
- ・問診票は事前にご記入の上お越しください。

● 健診会場における対策

- ・弊会健診スタッフは毎朝に検温と健康観察を行い、業務中はこまめな手指の消毒とマスクの着用を行います。
- ・受診者の受付時間を調整することで混雑を防ぎます。
- ・待ち椅子は可能な限り間隔を空けて設置し、会場内の換気を常時行います。
- ・受付にビニールカーテンを設置しております。
- ・机・椅子・ドアの取っ手等を定期的に消毒します。
- ・身体測定・血圧測定・心電図検査・エコー検査では、機器が受診者の身体に触れる部分を定期的に消毒します。
- ・視力・聴力測定では、受診者の額・顎・耳等に機器が接触する為、検査毎に接触部分を消毒します。
- ・採血では、手袋を使用し受診者毎に手指の消毒を行います。
- ・医師による診察では、診察前に手指を、受診者毎に聴診器等の接触部分を消毒します。
また、聴診・打診・触診は医師の判断により服の上から行う場合があります。

● 歯科検査における対策

- ・歯科フロアに空気清浄器を設置し、スタッフは予防衣・フェースガード・マスク・手袋を着用します。

● 緊急時の対応

- ・胸部X線検査等で新型コロナウイルス感染症を疑う所見が認められた場合、医師の判断によりその後の健診を中止します。